

京都市『山科青少年活動センター』を巡る

～ “やませい” に集う、若者とその声 ～

京都市は、人口の約 1 割を学生が占め、多くの若者が生活する全国有数の都市です。

若者の活動支援や場づくり等の拠点として、市内には計 7 箇所に青少年活動センターが設置されており、そこにはたくさんの 13～30 歳の若者が集まっています。

3 年ぶりの対面開催となる“わかもののもちサミット 2022”に先立ち、開催地・京都にある『山科青少年活動センター(通称:やませい)』を訪問し、そこで実施されている“地域通貨「べる」”を通じた若者の活動参画の仕組みを事例に、京都での取り組みについて学びます。

地域通貨「べる」とは？

2015 年 8 月から発行。青少年の様々な自主活動を通じた、社会を「まなべる」、得た通貨で「たべる」「あそべる」仕組み。主に 10 代の若者が、センター内での作業や地域活動の対価として「べる」を稼ぐことができ、地域の約 20 店舗にて 1 べる=1 円として使用することが出来ます。



○日時 11月5日(土) 12:45 集合／17:00 解散
○会場 京都市山科青少年活動センター
(〒607-8086 京都府京都市山科区竹鼻四丁野町 42)

○定員 20名程度

○スケジュール

12:45	集合 @JR 山科駅(改札前)
13:00～13:30	受付、オリエンテーション
13:30～14:00	京都市の概要・京都市青少年活動センター 紹介
14:00～16:00	①地域通貨「べる」活動について ②立ち上げ人・利用者(中高生)へのインタビュー ③山科青少年活動センター内見学
16:00～17:00	交流会
17:00	現地解散

○参加費 無料

(※ 申し込み方法は裏面参照)

○申 込 下記のリンクからお申し込みをお願いいたします。

<https://wakamachi.org/2022/09/28/wakamachifw/>



主 催 NPO 法人わかもののみち

共 催 ユースカウンスル京都、(公財)京都市ユースサービス協会

【京都市山科青少年活動センター】

「若者の課題解決につながるしくみを地域社会と協同でつくる」をテーマに、
(公財)京都市ユースサービス協会が運営・管理する施設の1つ。

中学生や高校生が放課後のしく過ごせる居場所づくりや、13~30歳の
青少年の自主的な活動のサポートを行っている。

公式HP

